



地域と結ぶ情報誌

ちゅうごくしこく

第7号

編集・発行

中国四国防衛局 総務部

〒730-0012

広島市中区上八丁堀6-30

電話 082 - 223-7109

榛葉防衛副大臣岩国基地等視察



11月16日、榛葉防衛副大臣が岩国基地を訪れ、基地を視察するとともに福田岩国市長らとの会談を行いました。

榛葉副大臣は16日午前中に綾瀬市長らと会談した後、厚木飛行場からP-3C哨戒機に搭乗し、同日午後1時すぎに岩国飛行場に到着しました。

休む間もなく榛葉副大臣はMCH-101掃海・輸送ヘリに乗り換え、滑走路移設事業の状況や岩国市全体を上空から視察、引き続いて大谷第31航空群司令らから海自岩国基地の概況説明を受けました。

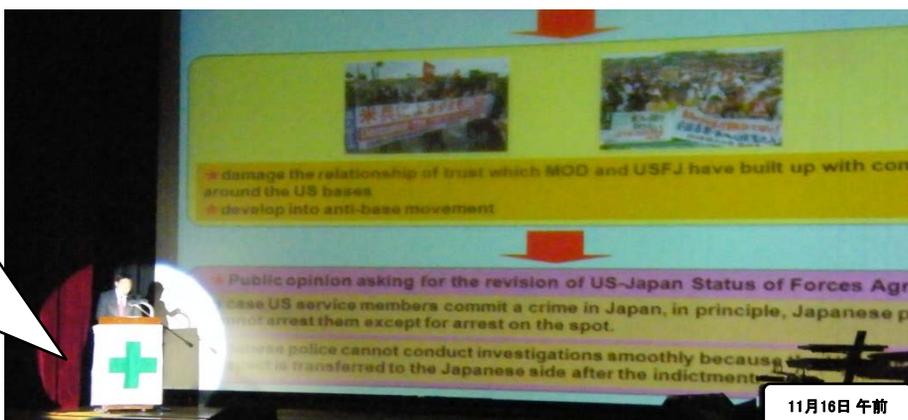
その後、榛葉副大臣は米海兵隊のマイケル A. オハローラン司令らを表敬訪問し、さらに岩国基地の滑走路移設事業の現場を視察しました。

当該移設事業の現場では、副大臣自ら新設の航空管制塔から工事中の滑走路等を視察し、中村中国四国防衛局長らから工事概況説明等を受けました。同日午後4時すぎに岩国市庁舎を訪れた榛葉副大臣は、福田岩国市長、高田市議会議長らと米軍再編等について意見交換を行った後、午後6時前に訪問時と同じP-3C哨戒機に搭乗し、岩国の地を後にしました。

セーフティブリーフィング



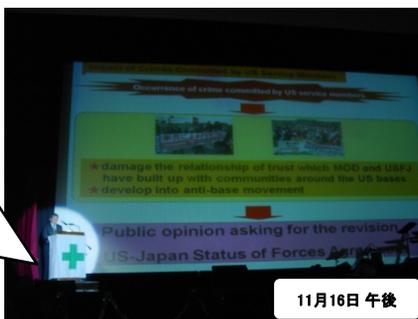
【福田岩国市長】



11月16日 午前



【原口企画部次長】



11月16日 午後

岩国航空基地・SAKURAシアター

11月16日、米海兵隊岩国航空基地主催の「セーフティブリーフィング」が基地内で行われました。

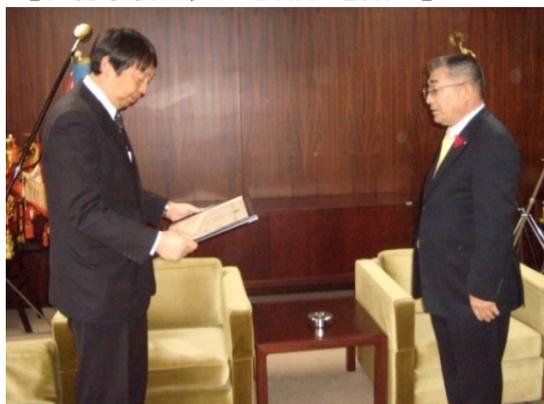
このセーフティブリーフィングは、主に夏や冬の長期休暇などを前に、基地に所属する全ての隊員たちを対象に安全意識の向上を図るために行われるものです。

今回初めて、福田良彦岩国市長がセーフティブリーフィングに出席し、オハローラン司令官を始め1,000名を超える隊員たちを前に英語で約20分間にわたり基地問題の実情や事件・事故が市民に与える影響について説明しました。さらに、福田市長は、市内の見どころや観光イベントなどを紹介しつつ、米軍関係者がイベントなどに積極参加して市民と交流を深めることが岩国市と基地との共存に重要であると隊員たちへ語りかけました。

当局からは原口企画部次長が出席し、日本における米軍基地の特性などを説明するとともに、事件・事故の防止、そして市民と隊員との文化交流の促進について理解を求めました。

感謝状の贈呈

【花房奈義町長に感謝状を贈呈】



【仙頭香南市長に感謝状を贈呈】



11月5日、中村中国四国防衛局長より奈義町長 花房昭夫氏に、また11月12日には、香南市長 仙頭義寛氏に感謝状が贈呈されました。

花房奈義町長におかれては、防衛省の防衛政策に積極的に協力され、防衛施設の安定的使用に貢献されると共に、日本原演習場での81mm迫撃砲の実弾射撃の実施、日米共同訓練（FTX）の実施等に一定の理解を示し、地元説得に尽力されたことに対し感謝するものです。

また、仙頭香南市長におかれては、防衛省の防衛政策に積極的に協力され、防衛施設の安定的使用に貢献されると共に、新高知駐屯地（仮称）、高知小演習場（仮称）の開設に対する地元説得に尽力されたことに感謝するものです。

自衛隊法第103条等関連省令の改正についての説明会



【須藤部員（内局運用企画局運用支援課）による説明】

12月1日、広島合同庁舎3号館において、本年8月に改正された自衛隊法第103条等及び115条等関連省令の改正についての説明会が実施されました。

防衛出動時における物資の収容等に当たり、地方防衛局長は方面総監等からの協力の依頼に積極的に応じるということについても規定され、今後、本省令に基づき、適切かつ円滑に業務を遂行するために周知を図ることとなったものです。

当該説明会は関係地方防衛局と関係方面総監部等との現地レベルでの連携をより緊密にする必要があることから、当局職員及び管轄地域内の部隊等の担当を対象に実施されました。

今後も部隊との連携を強化してゆきます。

駐留軍従業員永年勤続者表彰式



【秋月弾薬廠 永年勤続者表彰式】



【岩国基地 永年勤続者表彰式】

10月16日、岩国基地内クラブ岩国において、また、10月23日にはビューポートくれホテルにおいて、在日米海兵隊岩国航空基地及び在日米陸軍秋月弾薬廠に勤務する在日米軍従業員の永年勤続者表彰式が実施されました。

16日、岩国基地での永年勤続者表彰式においては、主催者の国からは中村中国四国防衛局長らが、米軍側からはマコーマック岩国航空基地副司令官らが出席し、来賓として岩国市議会副議長、岩国市農林経済部長らが出席しました。

開会の辞の後、日米両国の国歌吹奏、中村局長及びマコーマック副司令官の挨拶に続き、勤続10年、20年及び30年を迎えた67名それぞれの受賞者の代表者へ中村局長から表彰状が、マコーマック副司令官からは記念品が授与されました。

また、23日の同表彰式においては、中村局長のほか、ブライアント米軍秋月弾薬廠司令官、来賓として呉市総務企画部長、東広島市総務部次長及び江田島市総務部長等が出席しました。こちらも同様に、日米両国の国歌吹奏、中村局長及びブライアント司令官の挨拶に続き、勤続40年を含む29名それぞれの受賞者へ表彰状と記念品が授与されました。

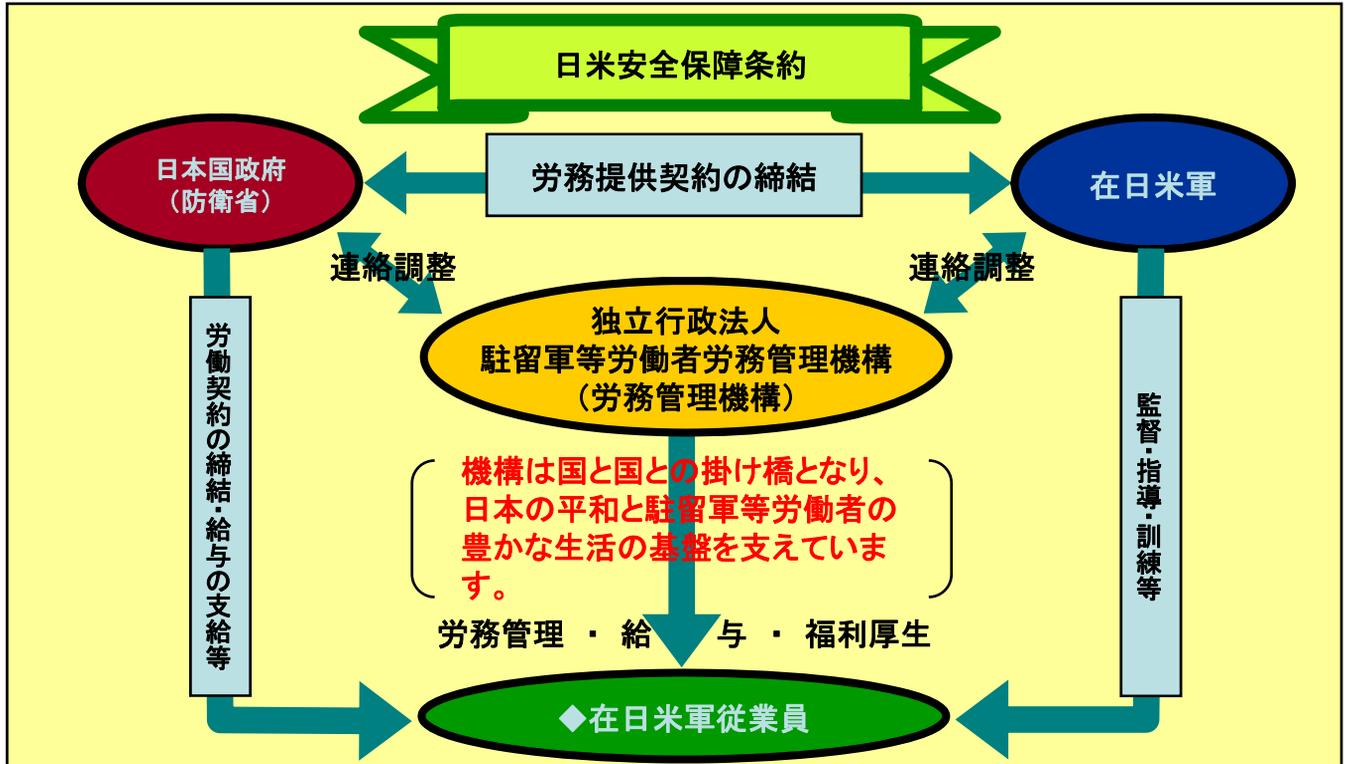
両表彰式の挨拶において、中村局長は「長年にわたる勤務に対する御労苦と御努力に敬意を表し、これからも、それぞれの職責において、豊富な知識と経験を生かし、一層御活躍されることを期待するとともに、職場における日ごろの交流を通じて、日米両国のかけ橋として、更に貢献されるよう期待する」と述べました。

在日米軍基地で働きませんか！

職種は多種多様
(事務職・技術職、警備、その他)

◆ 在日米軍従業員とは

在日米軍従業員の雇用形態は、日本国政府(防衛大臣)に雇用されますが、使用者は在日米軍となる「間接雇用」です。日本国政府に雇用されることから国家公務員と混同されがちですが、国家公務員ではありません。



在日米軍従業員の主な待遇

◆ 給与

基本給

勤務する職種ごとに基本給表・等級が決められています。

諸手当

扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当、時間外勤務手当、夏季手当、年末手当、退職手当などがあります。

◆ 勤務時間

勤務時間は月曜日から金曜日までの1日8時間

※警備員、消防員、ウェイター・ウェイトレス等の場合、変則的な勤務時間になることがあります。

◆ 休暇

年次休暇、夏季休暇、傷病休暇、結婚休暇、妊娠休暇、配偶者出産休暇、育児休業、介護休業、忌引休暇などがあります。

◆ 休日

土曜日及び日曜日の休日、米国の祝日、年末年始の祝日

※職種により土曜日及び日曜日以外の日を休日に指定されることがあります。

◆ 福利厚生

健康保険、介護保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険などの各種社会保険をはじめ、定期健康診断、成人病予防健康診断、災害見舞金、心の健康相談等さまざまな福利厚生制度があります。

応募から採用まで

応募

選考・面接

選考結果
通知

雇用前
健康診断

採用



お問い合わせ先

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構
・岩国支部
岩国市中津町2-15-35
TEL. 0827-21-1271



呉分室
呉市中央1-6-9センタービル呉駅前4F
TEL. 0823-32-7087

ホームページへのアクセスを！

お近くのハローワークからも応募できます。

H P: <http://www.lmo.go.jp/>
携帯: http://oubo.lmo.go.jp/bosyu_list_m/

経験や実績を持たれた、即戦力となられる貴方のご応募を待ってます！！

防衛問題セミナーを開催



10月28日、鳥取県鳥取市とりぎん文化会館において、武貞 秀士防衛研究所統括研究官を講師に招き「北朝鮮の動向と北東アジア情勢」をテーマに防衛問題セミナーを開催しました。

最近の北朝鮮の動向や北東アジアの軍事情勢などについて、ミサイル発射と核実験、拉致問題の背景と今後を中心に解説されました。また、今回の防衛問題セミナーは新日本海新聞社の後援を得て記事に紹介され、およそ100名の市民らが参加しました。

セミナーは原口企画部次長のあいさつに続いて始まり、「北朝鮮の宥和姿勢をどう読むか」「北朝鮮の核問題は解決するか」「北東アジアの戦略構図と日本の選択」など、現在の緊迫している情勢を研究者としての意見を交えながらの解説と弾道ミサイルからどのように日本を防衛するかについて、分かりやすい説明がありました。

参加した市民からは、講師の説明に「北朝鮮の現状について、報道されていない状況や考察を含めた説明を聞くことが出来、理解が深まった」「講師の深い洞察力に感心した」「大変興味深かった」といった感想が聞かれました。

広島経済大学講義



11月20日、広島経済大学ビジネス情報学科川村健一教授のリスクマネジメント講座において、中村中国四国防衛局長が「真に必要な防衛生産・技術基盤の明確化」と題して講義を行いました。

これは、「様々な物事を知らなければリスクを考えることが出来ない、物事を知ることによりリスクを考えられるようになる」との川村教授の考え方により、多方面から外部講師を招いてケーススタディを実施している一環として依頼されたものであり、当日は44名の学生が聴講しました。

中村局長の講義開始早々は緊張気味に聞いていた学生も、講義が進むにつれて理解を深めたようで、講義後の質疑応答では、装備品に関する日米の比較といった難しい質問から、防衛局の仕事内容や隊員の給料に至るまで、学生の率直な質問があり、最後は和やかな雰囲気になりました。

この講義や質疑応答を通して、学生の防衛省・自衛隊に対する意見を聴取するとともに、防衛局を含めた防衛省の仕事や役割を正しく伝えるよい機会になりました。

「防衛」について身近に考えてみませんか。

中国四国防衛局では、わが国の安全保障や国の防衛に関する問題について、広く国民の皆様に御理解を頂くため、防衛省の政策や自衛隊の活動の現状などについての情報を積極的に提供することとし、今後も引き続き、防衛問題セミナー等を開催します。これを機会に「防衛」について身近に考えてみませんか。

防衛省の政策や自衛隊の活動等に関する講演等について、当局管内の自治体や学校等で御要望があれば防衛省・自衛隊から講師を派遣します。

なお、講師の派遣に伴う経費等の必要は一切ありません。

【お問い合わせ先】

中国四国防衛局 企画部 地方調整課 (TEL082-223-7153) です。

広報活動



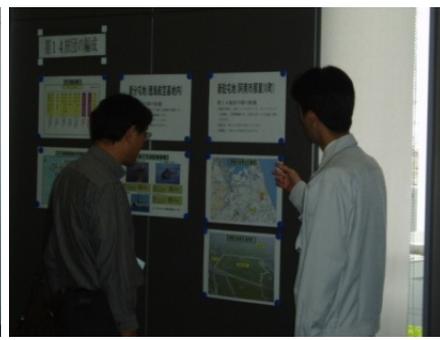
【とっとり防災フェスタ2009】

日時：平成21年10月25日（日） 10時～15時

場所：鳥取県倉吉市白壁土蔵群周辺

参加者：約12,000名

◇ 自衛隊の災害派遣について、全体的な対処、過去の大規模災害派遣状況並びに最近の派遣状況などについて、中国四国防衛局、鳥取地方協力本部、陸上自衛隊第8普通科連隊の合同によるパネル展示を実施し、自衛隊の災害派遣の基本についてお伝えしました。



【とくしま防災フェスタ2009】

日時：平成21年10月25日（日） 10時～15時

場所：徳島県北島町 徳島県立防災センター

参加者：約3,800人

◇ 今年度に予定されている徳島飛行場への第14飛行隊の円滑な配備により、災害対処の即応性の向上になること、また、陸上自衛隊第14旅団の編成や自衛隊の災害対処の仕組みをパネル展示し、来場者に説明を実施しました。